



～ 環境問題のジョウシキを斬る ～

受講無料

# 鎮守の森は 原始の照葉樹林の生き残りか？

小椋 純一 × 湯本 貴和

(京都精華大学 教授)

(総合地球環境学研究所 教授)

京都や滋賀にある鎮守の森には、クスノキやシイ、ツバキなどの照葉樹種が多く生育しているので、西南日本の原始的な森林である照葉樹林の生き残りであるかのように論じられることがあります。しかしながら、江戸時代の絵図や明治時代の写真・絵葉書などを集めてみると、多くの鎮守の森はかつてはアカマツやスギの林であったことが確認できます。

このセミナーでは、現在の鎮守の森と過去の画像を比較して、鎮守の森の景観的な変遷をたどりながら、いつ、どのようにして鎮守の森が照葉樹林化したのかを論じたいと考えています。

- 日時：平成19年9月21日(金)  
15:00～16:30 (14:30 開場) ← 開催時間が変更になりました。
- 会場：総合地球環境学研究所 講演室
- 定員：100名



## □地下鉄とバスをご利用の場合

地下鉄烏丸線「国際会館駅」から40系統「京都産業大学」行のバスに乗り、「地球研前」で下車下さい。

### 京都バス時刻表

「国際会館」発	13:58	14:18	14:38
「地球研前」発	16:40	16:55	17:10

## □叡山電鉄をご利用の場合

「京都精華大前」駅または「二軒茶屋」駅で下車下さい。徒歩約10分です。

\*ご来場の際は、各種公共機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

お申し込みとお問い合わせ先

総合地球環境学研究所 総務課 企画評価係 (〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4)

・電話：075-707-2173

・FAX：075-707-2106

・E-mail：shimin-seminar@chikyu.ac.jp